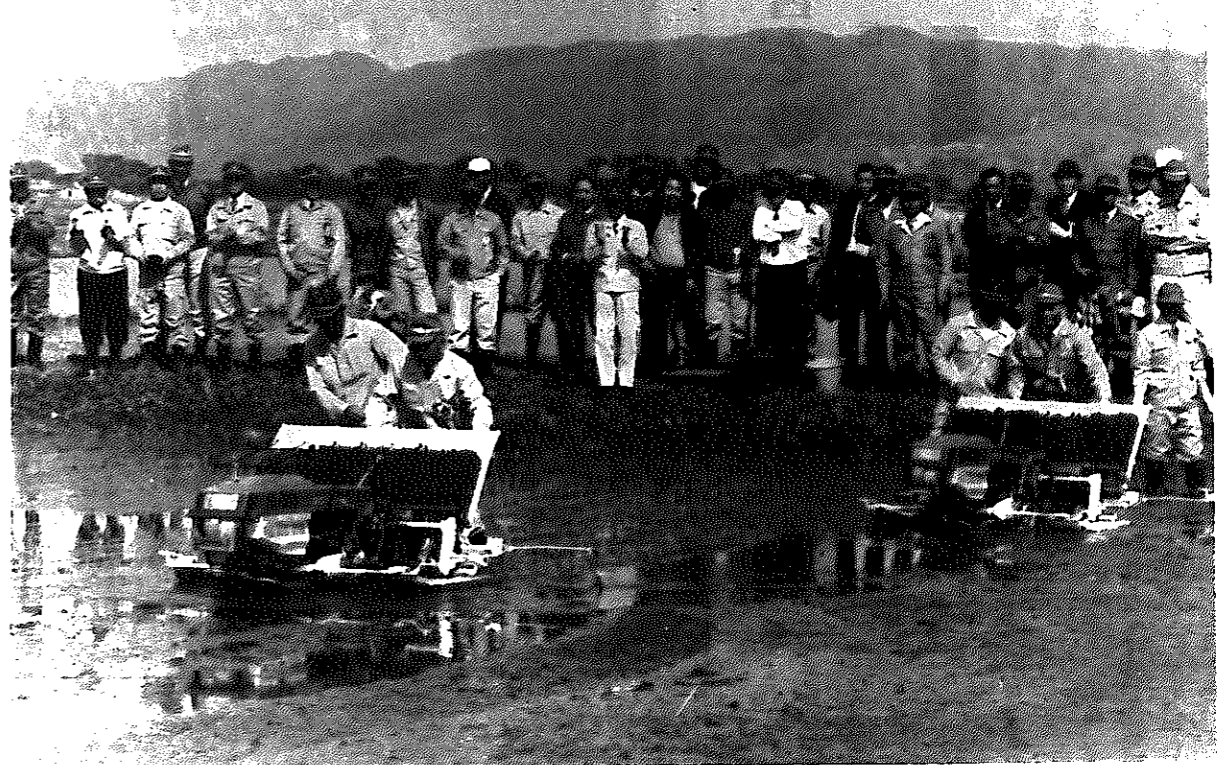


複合営農推進運動「新潟米・総ぐるみ田植えの日」

君知事が沖新保ほ場で記念田植え



五月七日新潟県知事 君健男

五月七日、沖新保の銘柄米生産出荷モテル集落ほ場で、君知事らによる田植えが行われました。これは、「新潟米・総ぐるみ田植えの日」の記念行事で、新潟米の「コシヒカリ」を軸にした、複合営農推進運動の一環として、良質米の多収安定生産への意欲を高めるために、毎年五月、知事らが県内のほ場を巡回して行っているもので、本市での開催は今回が初めてです。

当日の朝は雨——この日に向け何回も検討を重ね、準備してきた地元の人たちや、農政課の職員も雨空を見上げてみんなガツカリ。お昼近くになり、関係者の願いが天に通じたのか、天気も次第に回復へ。生産者代表としてみのり会会長の田村三男さんの声も晴れやかに「良質米の生産に努力する」と、知事へ誓いの言葉を述べました。

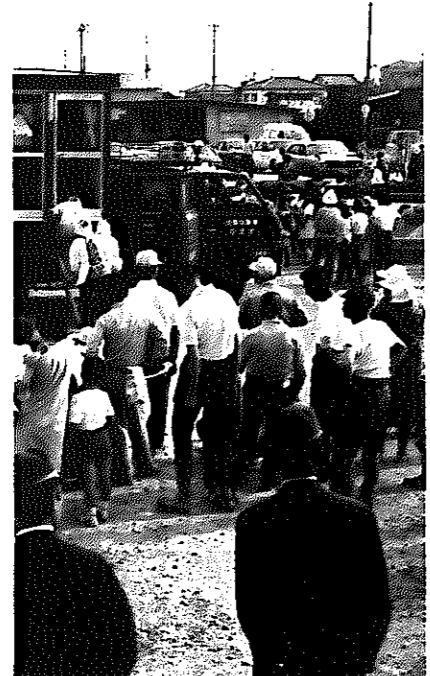


みなさんの家の防災体制は万全ですか
市民の協力を得て大がかりな消防訓練

五月十三日、市役所前の駐車で、大がかりな消防訓練が行われました。五十一年前の白根大火を思い起こし、緊急時の消防体制の確立、防火意識の高揚をねらって、白根地区消防本部が実施したものです。

火災警報発令中の午後三時、市役所付近から出火、十秒の風にあおられて近くの民家に延焼中という想定で訓練が行われました。消防車、救急車など三十三台、消防隊員や市民六百人が参加。放水訓練、救護活動など機

敏に動き回っていました。この後、親和町のみなさんの協力を得て、天ぶら火災や実際に小屋を燃やしての消火訓練を行い、移動地震体験車「なまず号」に乗って、地震の恐ろしさを体験していました。



地震に備えてもらおうと起震車も特別参加

インタビュー
移動地震体験車「なまず号」に乗ってみました。震度七ともなると、手が震えて思うようにガスコンロのスイッチを消せないですね。新潟地震を思い出しましたよ。

樋口桂作さん
(親和町)

議 市議会臨時会
五十六年度一般会計予算に、職員退職手当など千三百二十五万円を補正、予算総額は六十七億二千四百六十五万円になりました。また、地方税制改正に伴い、市税条例と都市計画税条例の一部が改正されました。これによると低所得者の税負担について、非課税措置による配慮が加えられるとともに、固定資産税や都市計画税についても、評価額の上昇割合の実態に応じて負担調整措置を継続しながら、さらにきめ細かに課税の適正化を図っていくことになりました。



小屋を実際に燃やして消火訓練

けたましいサイレンとともに、本番さながらの放水訓練と救護活動